

毎日持ってくる学習用具は、みなさんの学習をしっかりとものにできる大切な物です。

大津市立富士見小学校 基本の学習用具

学習にほんとうに必要な物は何か見直してみましょう。

【学校の学習に必要な筆記用具について】

①シャープペンシルは、どの学年も使わない。

小学生の間は筆圧（字を書くのに必要な力の入れ具合やバランス）を安定させる練習もかねています。しんのやわらかい濃いえんぴつが適しています。3本の指でしっかりえんぴつを持ち、濃く書くことで指先から刺激が脳に伝わるのです。

②毎日えんぴつをけずってくる。

必ず家からけずってくるようにしましょう。学習のかまえ（さあ、今日も学習をがんばろう！）を作ることにもなります。

③赤えんぴつ（赤ペン）は必ず持ってくる。

※5年生以上はマーカーペン可。

赤えんぴつ（赤ペン）は、答え合わせの丸付けや大切な言葉を囲んだり書いたりします。

5年生以上は、わかりやすいノート作りのため、マーカーペンは持ってきてても良いとしますが、キャラクターや派手な模様、柄等のついているものは、学習の妨げとなるため、やめましょう。

④消しゴムは形のシンプルな消しやすい物を使う。

美しいいな字を書くのに、使いやすく字がよく消えるものが基本です。

⑤下じきを使ってノートに字を書く。

美しい字を書くために、きちんと下じきを使います。

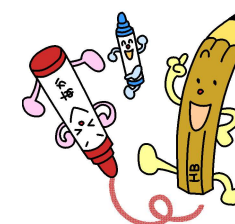
⑥ふでばこは一人一つ。キーホルダーなどをつけない。

シャープペンと同様に、学習に集中できなかつたりトラブルのもとになったりします。キーホルダーが学習と関係することはありません。

学習に集中できる環境をととのえて自分の力を伸ばしましょう。

【ふでばこの中身】

- 消しゴム（シンプルで消しやすいもの）
- 2BかBかHBのえんぴつ5本
- 赤えんぴつ（または赤ペン）
- 黒ネームペン
- 長さ15cmぐらいの定規
（めもりのはっきりしたシンプルな物）



1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生
○けずったえんぴつ 5本					
○消しゴム（シンプルで消しやすいもの）					
○黒ネームペン					
○赤えんぴつ1本			○赤えんぴつまたは赤ボールペン1本		
○色えんぴつ・はさみ（普段は引き出しの中に）					
○のり（普段は引き出しの中に）					
○定規（目盛りのはっきりしたシンプルなもの）					
○三角定規（普段は引き出しの中に）					
○コンパス（普段は引き出しの中に）					
○青えんぴつや 赤青黒の三色ボールペン			○赤青黒の三色ボール ペンやマーカーペン		
○分度器 （普段は引き出しの中に）					

一つの筆箱に入るように工夫しましょう。

自分から進んで学ぼう！

大津市立富士見小学校 家庭学習のすすめ

家庭で読書タイムを！

各ご家庭へのお願い



家庭での会話を大切にしましょう。

子どもたちは、話したがっています。ゆっくりと話を聞いてあげることで、気持ちが落ち着いてきますし、自分の行動に自信をもてるようになります。家庭学習や家庭での役割のがんばりについても大いに認め、ほめてあげてください。

場所と開始時間を決めて学習の習慣化を。

毎日継続して家庭学習ができるために、勉強部屋に限らず、落ち着いて家庭学習ができる場所と始める時間を話し合っ

下学年では宿題をきっちりと、上学年では宿題＋自学ノートで、自主的な家庭学習の定着をめざしましょう。

下学年では、まずは宿題をきっちりとすること。そして、学年が上がるにつれて、自学(自主学習)ノートでの計画的な学習の割合を増やして行ってあげてください。自学ノートの取り組みは、小学校だけでなく、中学校での家庭学習(定期テスト勉強)につながります。

家庭での読書タイムを作りましょう。

読書は心を豊かにするだけでなく、学力や意欲にも大きく関係します。家庭でノーテレビ、ノーゲームの日や時間を決め、静かな時間を作り出しましょう。大人も読書し、その姿を子どもに見せてあげてください。時には、読んだ本の内容などについて語り合うのも、とてもよい機会になります。



自学ノートの進め方

「この部分が苦手だから...」「このことに興味があるから...」「このことについてもっと力をつけたい...」と自分で学習課題を見つけて学習を進めていくことは、とても大切なことです。自学ノートは、その力を高めることができる方法の一つです。下の例をもとに、取り組んでみましょう。

反復練習型

漢字・計算などを繰り返し練習する。

練習問題型

教科書やドリルなどの問題を自学ノートに解答する。

授業のまとめ型

その日までに学習した内容を、自学ノートにポイントごとに整理する。

発展問題型

教科書よりも難しい発展的な問題に挑戦する。

調べ学習型

関心がある内容について、新聞や図書、パソコンなどを使って調べたことをまとめる。

考えまとめ型

新聞の投書やコラム、図書などから自分の感じたことや考えたことを述べる。

知識がアップ

理解がアップ

応用力アップ

活用力アップ

学習時間のめやす
低学年は、30分
中学年は、45分
高学年は、60分

あなたは、どの型から始めますか？ 富士見小の友だちのノート例をのせました。参考にしましょう。